

「グローバル化時代の地域社会」

— 青森再生・活性化提言 —

新世紀が始まったばかりの世界は情報革命のまただ中にある。未曾有のIT革命の影響は世界の隅々にまで浸透しつつある。国際社会の一員としての日本はもとより、地域社会「青森」にとっても、地球規模でのグローバル化時代への適切な対応は喫緊の課題である。2012年6月に文部科学省は大学の主要な機能として新たに「地域再生の核となる大学づくり」構想を提起した。この構想で大学に求められるのは、地域社会が直面する様々な課題に取り組み、解決に向けての具体的施策を提言し、地域社会への情報発信の役割を担うことである。

この文科省構想に沿って開催される本セミナーは、次にあげる三つの目標を掲げる。1) 大学院における各専修分野（経営専修、経済専修、地域専修）の担当教員が、各自の専門的視点から「青森の課題」を示し、具体的解決策を提起すること。2) 「地域社会との対話・交流」を進め、研究成果を現実に活かす契機とすること。3) 「地域に開かれた大学」として、専門性を活かしながら地域固有の課題を地域の人と共に考えることによって、専門性を活かした幅広い地域貢献を目指すこと。

以上が本大学院公開セミナーの目標である。

- 
- 第1回** 2013年6月11日(火)
 演題：「財政再建のあるべき方向性と地域経済の課題」
 講師：青森公立大学 教授 木立 力
 - 第2回** 2013年6月18日(火)
 演題：「地域経済と社会保障」
 講師：青森公立大学 准教授 大矢 奈美
 - 第3回** 2013年6月25日(火)
 演題：「地域イノベーションの戦略的課題
 ～グローバル時代の地域活性化に向けて～」
 講師：青森公立大学 教授 遠藤 哲哉
 - 第4回** 2013年7月3日(水)
 演題：「青森の地域づくりを考える
 ～海外とのネットワークの視点から～」
 講師：青森公立大学 教授 佐々木俊介
 - 第5回** 2013年7月9日(火)
 演題：「ロシア人消費者達は日本の製品を待っている」
 講師：青森公立大学 教授 丹野 大
 - 第6回** 2013年7月16日(火)
 演題：「確定決算基準が果たしてきた役割」
 講師：青森公立大学 准教授 金子 輝雄
 - 第7回** 2013年7月30日(火)
 演題：「グローバル経済下の日本と地方経済」
 講師：青山学院大学 名誉教授 太田 浩
 青森公立大学 教授 河野 秀孝

受講料
無料

いずれの回も

時間 ▶ 18時30分～21時

場所 ▶ アウガ（カダール研修室）

対象 ▶ 一般社会人、
学生（高校生、学部学生、大学院生）

定員 ▶ 各回50名（先着順）

申込方法

開催日前日（必着）までに受講を希望する演題名、開催日と住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、連絡先の電話番号を記入し、郵便、FAXまたはE-mailでお申込みください。

郵便送付先：〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4
青森公立大学地域研究センター公開講座係

FAX送信先：017-764-1564 地域研究センター
 E-mailアドレス：kouza@bb.nebuta.ac.jp



※あおもり県民カレッジ単位認定講座
 各2単位(計7回)

「グローバル化時代の地域社会」

— 青森再生・活性化提言 —

「財政再建のあるべき方向性と地域経済の課題」

講師 青森公立大学 教授 木立 力

青森経済は国の財政に強く依存しています。国と地方の財政の現状を述べ、その原因と改革のありうる方向性を導き、そのもとで地域経済にどのような影響があり、どのように対応すべきかについて、検討します。

「地域経済と社会保障」

講師 青森公立大学 准教授 大矢 奈美

社会保障制度と地域経済は、「人口移動」を媒介として互いに影響を与えあってきたと考えられます。また近年、地域経済再生のカギとして、社会保障や福祉の充実が挙げられていますが、これは本当に期待できるものなのでしょうか。両者の関係を整理し、この問題を検討してみましょう。

「地域イノベーションの戦略的課題 ～グローバル時代の地域活性化に向けて」

講師 青森公立大学 教授 遠藤 哲哉

グローバルに社会が動き出している今、国際的視点から“まち創り”イノベーションの創発を考え、取り組むことが急務です。この講座では、様々な国内外の地域づくり実践事例と研究を参考に、地域ガバナンス、イノベーションの観点から、青森の革新的未来を構想していきます。

「青森の地域づくりを考える -海外とのネットワークの視点から」

講師 青森公立大学 教授 佐々木俊介

青森が安定的に存続していくためには、国内外からその価値が認められ、結びつきを強めていくことが不可欠です。その観点から、特にアジア諸国とのネットワーク形成の可能性と課題を考えていきます。

「ロシア人消費者達は日本の製品を待っている」

講師 青森公立大学 教授 丹野 大

青森県企業とそれを支援する青森県庁とが行ってきたこの10年間の努力により、ロシア連邦極東地域のスーパーマーケットでも、青森県産特産商品の幾つか（醸造食品／青森リンゴ）が販売されるようになってきました。このような売れ筋商品の販路をロシア国内で一層に拡大するためにも、更なる努力と新たなマーケティング戦略が求められています。それらを論じます。

「確定決算基準が果たしてきた役割」

講師 青森公立大学 准教授 金子 輝雄

原発の再稼働は判断の難しい社会および地域の問題となっています。他方、再稼働問題は電力産業の経営問題であるとも言われています。ここでは財務的な視点から、その現状ならびにそのような状況に企業会計制度および税制との関係を論じたいと思います。

「グローバル経済下の日本と地方経済」

講師 青山学院大学 名誉教授 太田 浩／青森公立大学 教授 河野 秀孝

情報革命のまっただ中の世界経済。世界の日本、日本の青森、それぞれが未曾有の革命にいかに対処するか。喫緊の課題は何か。叡智をどこに求めるか。これらの難問を「地方交付税等に大きく依存する地方経済」の現状に着眼して考察し、青森の魅力的将来像を、ニュージーランド等の諸外国の経験と比較しながら模索します。

第1回
2013年6月11日
18時30分～21時

第2回
2013年6月18日
18時30分～21時

第3回
2013年6月25日
18時30分～21時

第4回
2013年7月3日
18時30分～21時

第5回
2013年7月9日
18時30分～21時

第6回
2013年7月16日
18時30分～21時

第7回
2013年7月30日
18時30分～21時